

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール枚方長尾		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	41	(回答者数) 30
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		～ 2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 12日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別対応をしたセッションプログラムの作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>セッション後の保護者様との振り返りの中で出てきた課題や園・家庭内でのお話を聞きながら必要なことをプログラムに取り入れている。</li> <li>一人一人の興味関心のあることと課題を組み合わせで完全オーダーメイドのプログラムの作成</li> <li>園へ直接訪問し、集団生活の中で見つけた生活に則した活動の導入</li> <li>生活リズムや睡眠リズムの調整のサポート</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>社内研修や指導員一人一人のスキルアップをしていくとともに職員同士で意見を交換しながら必要活動を必要な時に取り入れられるようにする</li> <li>継続してカンファレンス時に一人のお子様について考える時間を十分にとる</li> <li>社内独自の眠育アドバイザーからの助言を行い、各家庭に沿って生活リズムの改善を進めていけるようにする</li> </ul>
2	職員間のチーム力の高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務体制が異なる中でも、一人一人がお子様への意識を高め、必要な情報を共有しながら、療育がつながるようにしている。</li> <li>担任制ではないため、いろいろな職員が担当することでいろいろな視点でお子様の様子を見ることができている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勤務体制が異なる中でも、情報共有をしっかりと行うようにし、それぞれの意識を高めていく</li> <li>スクール内研修やカンファレンスを通して一人一人のお子様の療育の方向性を合わせられるようにしていく</li> <li>互いの意見や思いを伝えあいより良い関係性を築いていく</li> </ul>

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	時間の制限	<ul style="list-style-type: none"> <li>30分という療育時間や週に1～2回の利用のお子様も多いため出来ることの限りがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>30分の中でも繋がりがある活動内容を取り入れてみる</li> <li>保護者の方にも協力をしてもらいながら、継続した支援ができるようにお休みなど振替をしてもらえるようにする</li> </ul>
2	就学後のサポート体制	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童発達支援のため、就学後の様子やサポートをすることが難しい</li> <li>直接、就学先との連携をとることができない(保護者様を通してサポートブック等の作成を一緒に行うなどの支援は行っている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>就学後の不安を感じる保護者の方も多いため、就学先や通園している園と連携しながら情報の共有をする機会を作るようにしていく</li> <li>必要な情報を保護者の方にフィードバックしていくことで、就学までのサポートを丁寧に行っていく</li> </ul>